

福岡大学病院における第一例目の生体肝移植ドナー手術の麻酔経験

楠本 剛¹⁾ 仁田原慶一¹⁾ 石田 美紀²⁾
杉 恭之¹⁾ 重松 研二¹⁾ 安元 正信²⁾
池田 静佳²⁾ 平井 考直¹⁾ 藤本 実¹⁾
岩切 重憲¹⁾ 若崎るみ枝¹⁾ 生野慎二郎¹⁾
香取 清¹⁾ 真山 崇¹⁾ 飯星 真理²⁾
松永万鶴子²⁾ 比嘉 和夫¹⁾

1) 福岡大学医学部麻酔科学

2) 福岡大学病院手術部

要旨：われわれは福岡大学病院での第1例目の生体肝移植ドナーの麻酔を経験したので報告する。症例は34歳の男性で、肝移植ドナーとして肝左葉切除が行われた。麻酔は硬膜外麻酔と全身麻酔を併用して行い、肝切除中は一回換気量を減らし、呼吸回数を増やし、輸液を制限し、中心静脈圧を低く維持し肝離断面からの出血を軽減するように努めた。手術時間は10時間55分で、麻酔時間は14時間であった。術中の出血量は500gであった。術後19日目に退院した。

索引用語：生体肝移植, ドナー, 肝切除術